

富山信用金庫の環境への取組みについて

【立山連峰の弥陀ヶ原で外来植物除去】



弥陀ヶ原がある「立山黒部アルペンルート」には国内外から多くの方が訪れていますが、近年は外来植物の侵入による生態系への悪影響が問題化しております。

富山信用金庫（理事長 山地 清）は、地域活性化のために全国の信用金庫に呼び掛けた観光客誘致を進めておりますが、誘致活動の一環として県の観光資源である立山の保護に貢献するため、立山・弥陀ヶ原での外来植物の除去活動ボランティア日帰りツアーを実施しております。役職員やその家族のほか、県内外の信用金庫や取引先にも呼び掛けを行い、貴重な観光資源である立山の生態系保護に励んでおります。

今後も継続的な活動とし、外来種除去といった地域貢献を通して、美しい立山の生態系保護を目指します。

